

伊藤とし子

連絡先 市民ネットワーク千葉県
〒260-0013
千葉市中央区中央 4-10-11 アイビル4F
電話・FAX 043-201-1051
mail info@chiba-kennet.com

ブログ 伊藤としこのひとりごと



日付	本数
12/29	416
12/30	516
12/31	231
1/1	286
1/2	209
1/3	227

年末年始の相談実績表

委託業者を変え、本数を増やし看護師も入れ、相談に備えました。ところが年末年始、何度かけても2回鳴ってブツツと切られるケースが続出。後日、記録を調べると、相談件数は平日の半分に... 年末年始には発熱する人が半減？

また、やつと繋がっても相談に応じるどころか「保健所に相談するように」とたらい回し。夜中、高熱を発している人に対してです。何のための看護師投入でしょうか。県に厳しく改善を求めたところ、業者の立入調査となりました。

12月からの人員体制

- ◆日中 オペレーター10名、看護師2名
- ◆夜間 オペレーター3名、看護師1名

発熱したらコールセンターへと言っけれど

県のコールセンターの役割は

- ◆医療機関の紹介
- ◆新型コロナ感染症に関する相談
- ◆心配な症状が出た時の対応、と明記されています。

新型コロナウイルスの猛威は続き、1月15日、県内の感染者数は初の500人台となりました。

緊急事態宣言

感染拡大!

コールセンターがつかない!

PCR検査が受けられない

無症状者からの感染リスク

PCR行政検査は、今だ症状のある人か、濃厚接触者しか受けられません。

ウイルスの感染リスクは発症の2日前からとされているため、3日より前に接触している微妙なケースが野放しにされ、その結果無症状者が知らずにウイルスをばらまき、感染を広げている可能性を多くの専門家が指摘しています。

症状がなくても検査を受けられる社会的検査を実施すべきです。

新型コロナウイルスから命と暮らしを守る!

県ネットホームページ

緊急要請書の内容



1月15日、県知事あて緊急要請書を提出!

◆更なる病床確保 ◆PCRの社会的検査の実施 ◆一人暮らしの高齢者や障がい者など、発症しても自力で外部に連絡が取れない場合の公的支援。

2021年度千葉県当初予算 1兆9898億円

3月の知事選で知事が交代するため、「骨格予算」となり、新知事が肉付けする予定ですが、コロナ対策で経費が膨らみ、過去最大規模に!

一般会計総額 1兆9898億円 (前年度比9.4%増)

コロナ対策費 約3312億円

- 【主な事業】
- ◆感染症患者用の空床確保 234億1000万円
 - ◆患者受入協力金 28億8000万円
 - ◆臨時医療施設(100~200床) 30億円
 - ◆検査体制の確保 12億3500万円

2月17日 予算委員会でPCR検査の拡大を求めます!

広島県の取り組みを見習いたい

広島県は現在、県内5か所にPCRセンターを設置し、医療機関、福祉施設、理美容、飲食店消防署救急隊員、廃棄物処理業、鍼灸業の従業員や家族に、無料でPCR検査を実施しています。1月18日時点で22000人が検査を受けました。

さらに今後、80万人に拡大予定!

広島市の中心部4区的全住民を対象に、無料PCR検査を実施する計画です。広島県は「無症状の人からの感染拡大を抑えたい」と決意表明。

千葉県でも、PCR検査拡大を要望します。

医療崩壊を防ぐために財政支援を!

千葉県では、1月16日時点で、治療が必要なコロナ患者のうち、実際に入院できた人は約12.5%にとどまることが判明しました。

新規感染者数 (直近7日間平均)	442.9人
病床稼働率 (入院者数/即応病床数)	67.1% (654人/975床)
重症患者の受入れ率 (重症者数/重症者病床数)	65.2% (43人/66床)
ホテル稼働率 (ホテル療養者数/確保部屋数)	33.7% (289人/858室)

1月17日現在

病床稼働率が7割近くに達し危険水域です。受入れ病院を増やすには、病院への財政支援をもっと増やし、コロナ患者受け入れて生じる減収リスクをきちんと補償する必要があります。令和3年度のオリンピック予算38億円を、コロナ関連に組み替えるべきです。

東千葉メディカルセンター
不正疑惑!
県税投入137億円

昨年10月、センターの経営に対する内部告発文がインターネット上で公開され、大規模な不正が明るみに出ました。

給与の水増しや手当の不正請求
(推定:年間5億円水増し)

- ・県からの派遣幹部の給与を毎月27万円上乗せ。
- ・特定の事務職員や看護部長を昇格・昇給。
- ・コロナ対応手当や時間外手当の架空請求。

業者との癒着

(推定:年間2億5000万円水増し)

- ・レセプトの作成委託を2020年から別の知己の業者に移し、委託費を1.8倍に増額。
- ・本来1社だった診療材料の在庫管理を、業務をわざわざ二分し、知己の2業者に委託。
- ・医療機器の不当な高額購入と、納品事実が不明な取引などを計上。

東千葉メディカルセンター(東金市)は、県立東金病院の廃院後、2014年に救命救急センターを持つ中核病院として開院。開設当初から赤字体質で、千葉県は多額の財政支援と県立病院からの看護師派遣など、病院運営に深く関わってきました。



他にも、経歴詐称の縁故採用など、呆れる実態が炙り出されました。告発文に添付されている資料が、原本コピーであることを病院側も認めています。

現経営陣は、亡くなった前幹部に全ての責任を負わせようとしています。

県は率先して真相究明し、刑事告発も含め、厳しく対処すべきです。

12/22

12月県議会
最終日の討論で

税金の不当な使い方を厳しく指摘!